

平成24年度 農業環境技術研究所 評価委員会

3月11日、平成24年度の農業環境技術研究所評価委員会を大会議室において開催しました。この委員会は、自己評価の客観性を高めるために、外部専門家・有識者の方々に業務運営全般に対する評価をお願いしているものです。今年度も、昨年に引き続き、以下の方々に評価委員をお願いしました(所属・役職名は評価委員会当日のもの)。

【評価委員】大木美智子(財団法人消費科学センター 代表理事)、大嶋美智子(株式会社大嶋農場 取締役)、大沼あゆみ(慶應義塾大学経済学部 教授)、金子文宣(千葉県農林総合研究センター センター長)、古在豊樹(千葉大学 名誉教授、委員長)、三枝正彦(豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター 特任教授)、森田満樹(ライター、消費生活コンサルタント)

宮下理事長の挨拶の後、平成24年度の研究所の業務運営、調査・研究の進捗状況、主要研究成果案等を

報告し、意見をいただきました。また、委員会後に各評価委員による項目ごとの採点・コメントを集約し、評価委員会としての評価結果を取りまとめることとしました。

評価委員よりいただいた講評のうち、主なものを以下に示します。

- ・農環研の研究成果、蓄積された知識・ノウハウを、人文社会系も含めた他分野との交流を通じて広く提案・提供することが必要。
- ・個別の研究成果のみならず、トレードオフも含めた全体像が把握できるような工夫に期待。
- ・研究成果が、温暖化に伴う品質低下対策を含め、農家が安心して生産できる技術につながっていくことを期待。
- ・一般の人に農環研の認知度を高める努力が必要。
- ・女性研究者の採用・登用比率を高めるためのさらなる取組が必要。

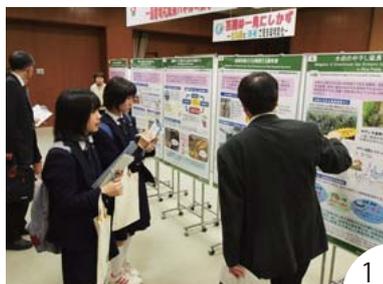
(企画戦略室長 山本 勝利)

平成25年度 一般公開「未来につなげよう 安全な農業と環境」

つくばの農林研究団地にある農水省関連研究所の一般公開が、4月19日(金)と20日(土)の2日間にわたって行われました。(独)農業環境技術研究所も19日に、多数の実演・体験・展示、ミニ講演、ポスターによる研究成果紹介を行いました。このイベントは、科学技術週間の行事の一つとして毎年この時期に開催され

ているもので、今年の農環研は金曜日にのみ開催しましたが、昨年金曜日の690人を上回る736人に来場いただきました。なお、今年はいじめての試みとして、7月27日(土)に小・中学生をおもな対象として「のうかんけん夏休み公開」を開催します。当日の様子は次号の農環研ニュースでご紹介します。

(広報情報室 広報グループ)



1. 農業と環境を考えるー最新研究成果パネル展示ー
研究成果クイズに挑戦していただきました。
2. 古地図に見るつくば・牛久の環境変化(ミニ講演)
地域の環境や風景の移り変わりをさまざまな地図や図表で解説しました。
3. 農業環境インベントリー展示館見学(昆虫コーナー)
農環研が所有する外国のめずらしい昆虫も見ていただきました。
4. 土壌の病気をやっつける
低濃度エタノールによる新しい土壌還元消毒法について解説しました。